

医政総発 1 2 2 5 第 2 号
薬生安発 1 2 2 5 第 2 号
平成 2 7 年 1 2 月 2 5 日

公益社団法人日本臨床工学技士会会長 殿

厚生労働省医政局総務課長
(公 印 省 略)

厚生労働省医薬・生活衛生局安全対策課長
(公 印 省 略)

医療事故情報収集等事業第 43 回報告書の公表について

医療行政の推進につきましては、平素から格別の御高配を賜り厚く御礼申し上げます。

医療事故情報収集等事業につきましては、平成 16 年 10 月から、医療機関から報告された医療事故情報等を収集、分析し提供することにより、広く医療機関が医療安全対策に有用な情報を共有するとともに、国民に対して情報を提供することを通じて、医療安全対策の一層の推進を図ることを目的として実施しており、今般、公益財団法人日本医療機能評価機構より、第 43 回報告書が公表されました。

本報告書における報告の現況等は、別添 1 のとおりです。また、別添 2 のとおり、再発・類似事例の発生状況が報告されています。

貴職におかれましては、同様の事例の再発防止及び発生の未然防止のため、本報告書の内容を御確認の上、別添の内容について留意されますとともに、貴会会員に対して、周知方お願いいたします。

なお、本報告書につきましては、別途、公益財団法人日本医療機能評価機構から貴職宛に送付されており、同機構のホームページ(<http://www.med-safe.jp/>)にも掲載されていますことを申し添えます。

医療事故情報収集等事業 第43回報告書のご案内

1. 報告の現況

(1) 医療事故情報収集・分析・提供事業(対象:2015年7月～9月に報告された事例)

表1 報告件数及び報告医療機関数

		2015年			合計
		7月	8月	9月	
報告義務対象 医療機関 による報告	報告件数	290	303	253	846
	報告医療 機関数	183			
参加登録申請 医療機関 による報告	報告件数	35	28	14	77
	報告医療 機関数	40			
報告義務対象 医療機関数		275	275	275	275
参加登録申請 医療機関数		737	739	741	741

(第43回報告書46～52頁参照)

表2 事故の概要

事故の概要	2015年7月～9月	
	件数	%
薬剤	48	5.7
輸血	2	0.2
治療・処置	266	31.4
医療機器等	13	1.5
ドレーン・チューブ	59	7.0
検査	44	5.2
療養上の世話	327	38.7
その他	87	10.3
合計	846	100.0

(第43回報告書58頁参照)

(2) ヒヤリ・ハット事例収集・分析・提供事業(対象:2015年7月～9月に発生した事例)

1) 参加医療機関数 1,174(事例情報報告医療機関数 642施設を含む)

2) 報告件数(第43回報告書74～82頁参照)

①発生件数情報報告件数:200,139件(報告医療機関数489施設)

②事例情報報告件数:8,842件(報告医療機関数72施設)

2. 医療事故情報等分析作業の現況(第43回報告書100～167頁参照)

今回、「個別のテーマの検討状況」で取り上げたテーマは下記の通りです。

- | | |
|------------------------------|----------------------|
| (1) インスリンに関連した医療事故 | 【第43回報告書 102～132頁参照】 |
| (2) 座位による中心静脈カテーテルの処置に関連した事例 | 【第43回報告書 133～146頁参照】 |
| (3) 胃管の誤挿入に関連した事例 | 【第43回報告書 147～167頁参照】 |

3. 再発・類似事例の発生状況(第43回報告書168～193頁参照)

これまでに、「共有すべき医療事故情報」や「個別のテーマの検討状況」、「医療安全情報」として取り上げた内容の中から再発・類似事例が報告されたテーマを取りまとめています。今回取り上げた再発・類似事例のテーマは下記の通りです。

- | | |
|---|----------------------|
| (1) 「B型肝炎母子感染防止対策の実施忘れ」
(医療安全情報No.49)について | 【第43回報告書 172～175頁参照】 |
| (2) 共有すべき医療事故情報「体内にガーゼが残存した事例」
(第14回報告書)について | 【第43回報告書 176～193頁参照】 |

*詳細につきましては、本事業のホームページ(<http://www.med-safe.jp/>)をご覧ください。